

研究課題名	肺高悪性度神経内分泌癌の新規バイオマーカー候補の検討
研究の意義・目的	肺高悪性度神経内分泌癌に分類される大細胞神経内分泌癌及び小細胞癌は非常に侵襲性が高く、極めて予後が悪い疾患です。本研究では肺高悪性度神経内分泌癌のバイオマーカー候補を選定し、組織におけるその発現を検討することで、早期診断、予後予測または治療ターゲットに繋がる新規バイオマーカーを開発することを目指しています。この成果は、肺高悪性度神経内分泌癌の早期発見や治療戦略に寄与し、罹患患者の利益に通じると考えています。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2007年4月~2022年12月に下記の研究機関で肺高悪性度神経内分泌癌に対する手術を受けられた方が対象となります。 ・大阪公立大学医学部附属病院 ・大阪市立総合医療センター
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：手術時に採取された肺組織の余剰組織、通院時に採取された血液の残血清 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、飲酒歴、喫煙歴、検査データ
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	共同研究機関 大阪市立総合医療センター 西口幸雄から試料・情報の提供を受けて研究を実施します。
提供する試料・ 情報の取得の方法	試料とともに、個人情報を加工して診療情報を取得します。
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学 研究責任者 鈴木周五
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院 大阪市立総合医療センター
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学 (担当者氏名) 野浦 郁恵 電話番号：(06) 6645-3736 メールアドレス：sx23713o@st.omu.ac.jp